

2008年3月期 中間決算説明

2007年11月8日



古河スカイ株式会社

＜本日の内容＞

1. 2008年3月期(2007年度)中間決算概要
2. 2008年3月期(2007年度)通期業績見通し
3. トピックス

1. 2008年3月期(2007年度) 中間決算概要

2007年度 中間決算のポイント

■ 前年同期比で増収減益

- アルミ地金価格高値継続により売上金額増
- 売上数量減少と品種構成差による利益減
- 税制改正による償却費増(約7億円)

■ 売上数量

- 半導体製造装置等の需要低迷に伴う厚板販売不振
- コイルセンター、流通店売など汎用材市場低迷
- 昭和電工の一般箔市場撤退による箔用減少
- LNGタンク材向け、印刷用材料、自動車熱交換器用材料等優位製品は好調持続。缶材も前年比プラス

2007年度上期業績(対前年度上期)

<連結>

(単位:億円)

	06年度上期 (A)	07年度上期 (B)	増減 (B)－(A)	前年比(%) (B)／(A)
売上高	1,175	1,240	65	105.5
営業利益	76	65	▲11	85.4
経常利益	70	56	▲14	80.5
当期純利益	42	32	▲10	75.7

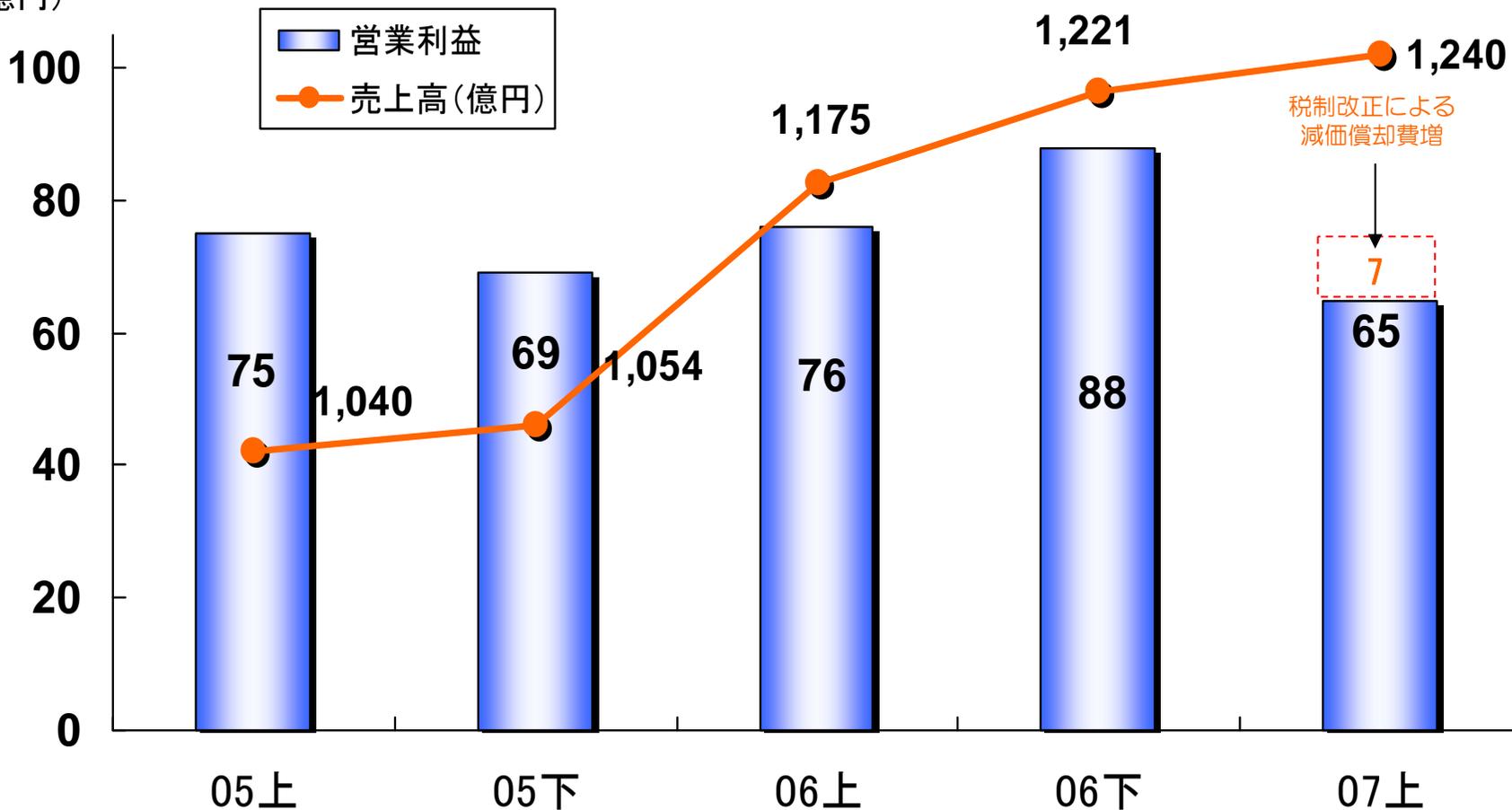
<単体>(ご参考)

(単位:億円)

	06年度上期 (A)	07年度上期 (B)	増減 (B)－(A)	前年比(%) (B)／(A)
売上高 (数量)	1,046 222(千トン)	1,110 217(千トン)	64 ▲5(千トン)	106.1 (97.4)
営業利益	69	57	▲12	82.0
経常利益	64	51	▲13	79.5
当期純利益	33	32	▲1	97.8

半期売上高・営業利益推移

営業利益
(億円)

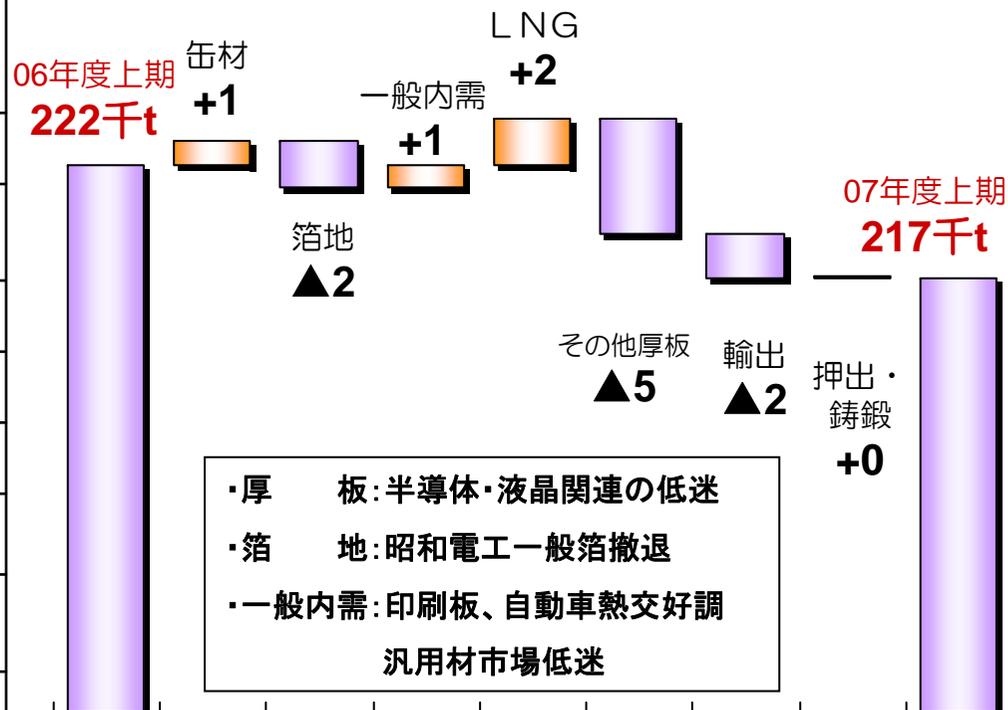


2007年度上期 品種別売上数量(対前年度)

(単位:千トン)

品 種		06年度 上期	07年度 上期	前年同期比
板	缶 材	69	70	101.4
	箔 地	21	19	90.5
	一 般 内 需	75	76	101.3
類	厚 板			
	LNG	7	9	128.6
	その他	18	13	72.2
	輸 出	9	7	77.8
	計	199	194	97.5
	押 出 計	22	22	100.0
	鋳 鍛 計	1	1	100.0
	総 合 計	222	217	97.7

07年度上期売上数量増減内訳 (前年同期比▲5千t)



連結営業利益分析 (06年度上期実績→07年度上期実績)

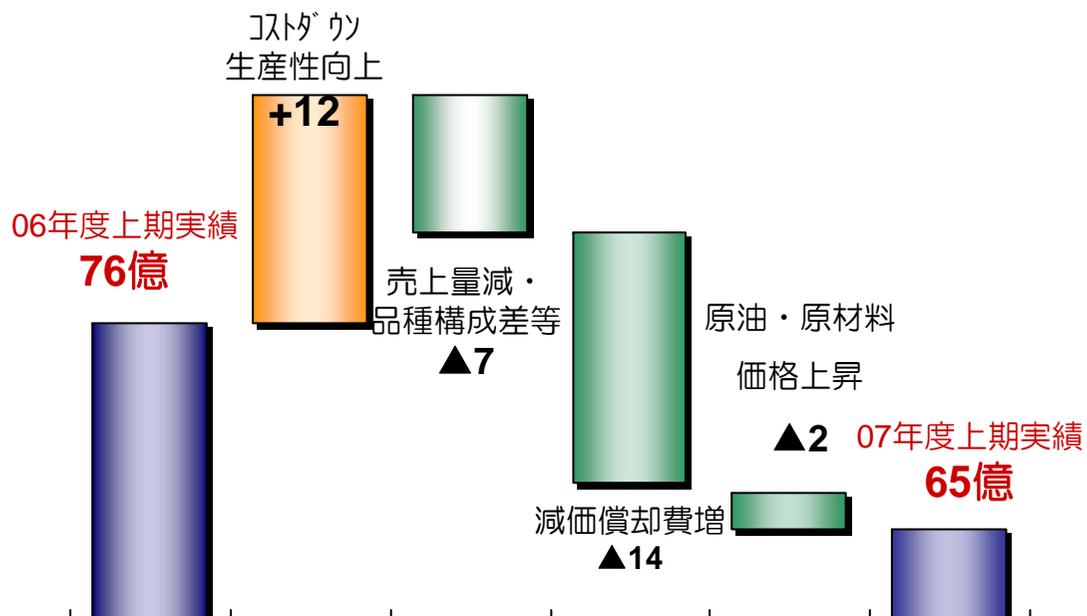
主な増益要因

・コストダウン・生産性向上 12億

主な減益要因

- ・減価償却費増 14億(税制改正による増 7億含む)
- ・売上数量減・品種構成差等 7億
- ・原油・原材料価格上昇 2億

06上期実績→07年度上期実績連結営業利益増減内訳 (同期比▲11億)



貸借対照表(連結)

(単位:億円)

	07/3末	07/9末	増減		07/3末	07/9末	増減
流動資産	1,182	1,155	▲27	流動負債	1,126	1,100	▲26
現金・預金	62	69	7	支払手形・買掛金・ 未払金・未払費用	712	670	▲42
受取手形・ 売掛金	655	629	▲26	短期借入金・一年以内 返済長期借入金・社債	371	401	30
棚卸資産・ 前渡金	352	377	25	未払税金・その他	43	29	▲14
その他	113	80	▲33	固定負債	598	581	▲17
				長期借入金・社債	427	412	▲15
固定資産	1,274	1,277	3	その他	171	169	▲2
有形・無形固定資産	1,160	1,164	4	少数株主持分	26	27	1
投資その他の資産	114	113	▲1	資本合計	706	724	18
資産合計	2,456	2,432	▲24	負債・資本合計	2,456	2,432	▲24

連結主要経営指標

	06年度年間	07年度上
売上高営業利益率	6.9%	5.3%
自己資本比率	28.7%	29.8%

(ご参考)

自己資本比率＝〔純資産(期末)－少数株主持分〕／総資産(期末)

2. 2008年3月期(2007年度) 通期業績見通し

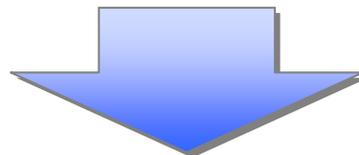
下期の需要見通しと対策

- 需要は全般的に回復基調にあり、基準地金価格が大きく下がる 年明けより、厚板／店売／建材等、一般材各分野の急速な回復を予測
- 缶材、厚板、印刷向等当社優位製品のアジア市場での需要が伸長
- 太陽光発電パネル製造装置向大型基板初受注

- ターボチャージャー コンプレッサーホイール
品質優位性の評価高く欧州ユーザーの受注拡大
(80万個/月生産体制 ⇒ 世界No.1を覗くポジションへ)



- 新溶解炉等 大型設備投資効果 計画通りの進捗
- 板 生産品種集約年度内完了 効果の早期実現
- グローバル戦略の着実な進捗

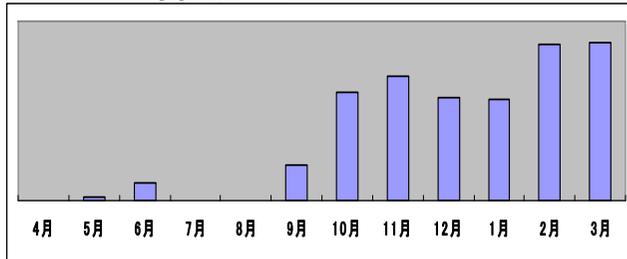


当初下期予想達成 + α

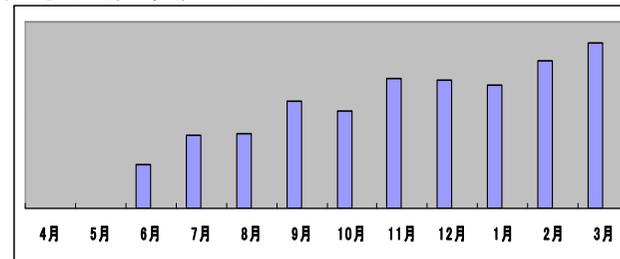
大型設備投資/生産品種集約

■ 福井工場 ・ 缶材塗装ライン増強 ・ 鑄造炉増強

CPCL#2操業量

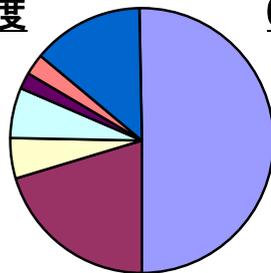


新鑄造炉製出量

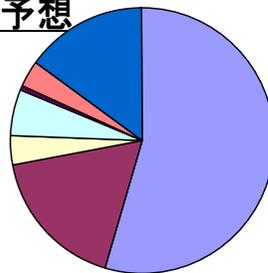


■ 板製品 生産品種集約

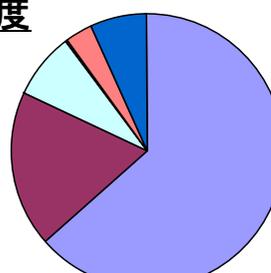
05年度



07年末予想

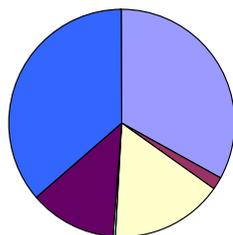


09年度

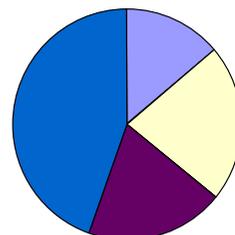


福井工場

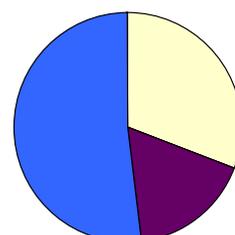
05年度



07年末予想



09年度



深谷工場



利益拡大に寄与

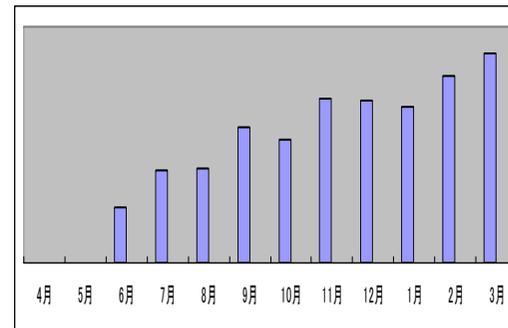
3. トピックス

＜設備投資＞

- 福井工場 鑄造炉
- 07年5月設備完成
スラブ製造能力を増強



新鑄造炉製出量



＜研究開発＞

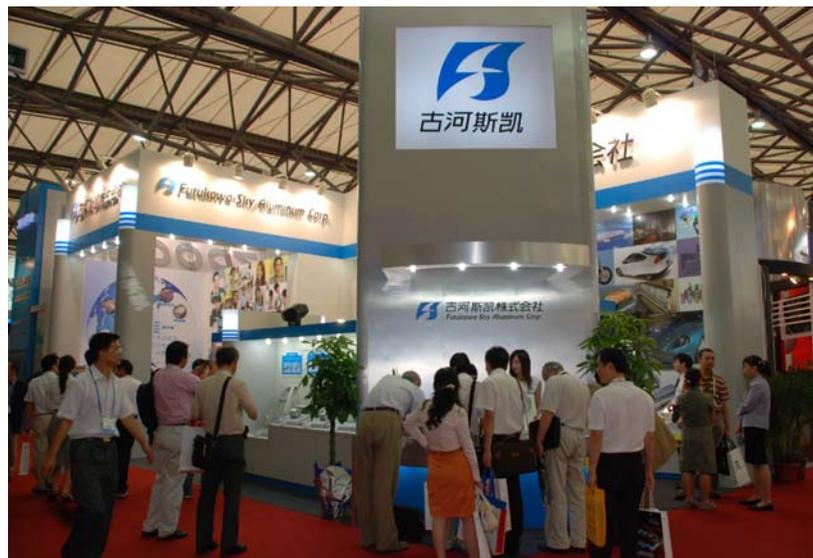
- 福井・日光・小山・深谷に分散していた技術研究所施設・機能を深谷に集約
- 今年度上期に各所からの移動が完了
研究者140名が深谷に集結
- 要素別研究の徹底。
重要案件は組織横断で対応



＜海外展示会初出展＞

■ 「ALUMINIUM CHINA 2007」に出展（中国・上海市 8月28～30日開催）
91カ国から8,400名が来場。わが国の圧延業としては初の試み
アジア/中国での当社認知度の向上を図るとともに、アルミ材料拡大への貢献
を提案。（今後も継続出展を予定）

■ 中国のみならず、北米・欧州・東南アジア・オセアニア等多くの国々の方が
当社ブースにご来場。厚板・自動車関連材料を中心とした引合い多数。高度
な押出技術にも高い関心。



<その他>

■鍛造製品

・太陽光パネル製造装置用大型基板受注開始・急伸予測

・小山田記念賞受賞内定 [(社)軽金属学会]

「軽金属製品の生産、製作の優れた技術を確立した、
発明、考案、研究の功績者が受賞」

→ 半導体製造装置・薄型ディスプレイ製造装置用
基板ホルダー製造の熱間鍛造接合技術

⇒ 大型基板のシェア100%





<その他>

■ 財務体質強化

- ・キャッシュ・マネジメント・システム(CMS)導入
- ・地金輸入ファイナンス・スキームの導入

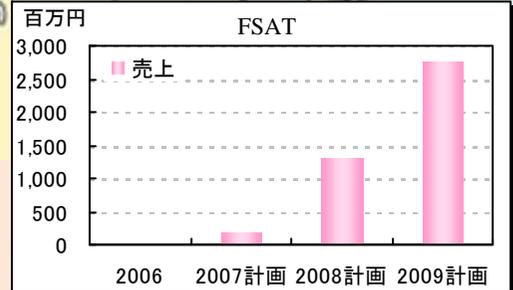
海外製造拠点の新設・増強

3拠点同時立上
アジア自動車関連需要の拡大に呼応

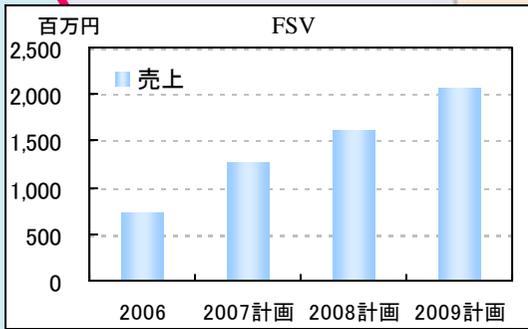
グローバル戦略の構築

ギリシャ<販社/板>
2月設立後、欧州日系ユーザー中心に順調な納入実績を積み現地大手ユーザーについても、営業活動を開始

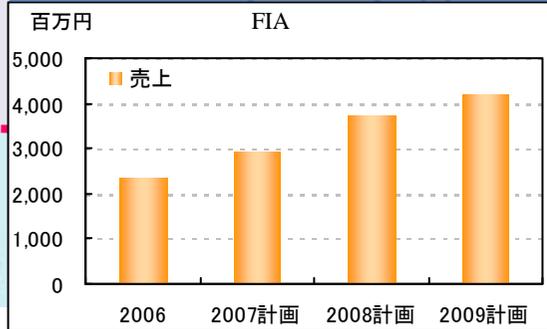
中国<押出>
4月開所式 主要顧客の認定活動最終段階、年内に本格量産開始予定



ベトナム<鋳物>
上期出荷は40万個/月を超え、足元計画を上回る受注 年末迄に日本より鋳造機移設、設備集約を完了



インドネシア<押出>
東南アジア地区での自動車需要の急回復で、新設押出機フル稼働中

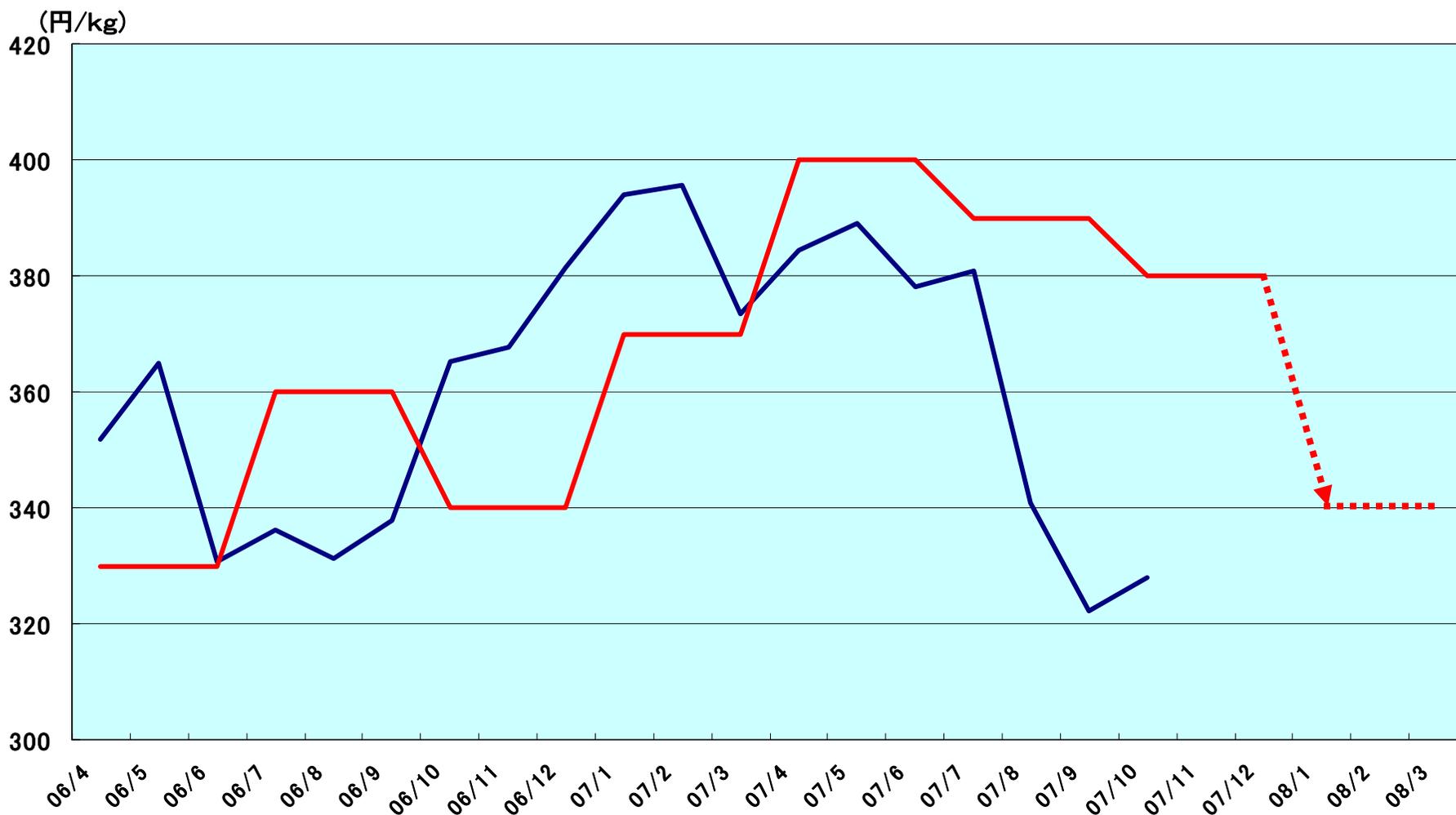


グローバル戦略の推進

アルミ地金日経平均と基準地金推移

ご参考

— 日経平均 — 基準地金





■ 将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは今後様々な要因によりこれらの業績見通しとは大きく異なる場合があります、確約や保証を与えるものではないことをご承知おき下さい。また、本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。

■ 著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河スカイ株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

■ 本資料ならびにIR関係の問い合わせにつきましては、下記までお願いいたします。

広報・IR室 TEL:03-5295-3668 FAX:03-5295-3760

ホームページ:<http://www.furukawa-sky.co.jp>
(東証1部 コード番号:5741)

 古河スカイ株式会社